

い

編集発行：池田市議会
住所：大阪府
池田市城南
1丁目1番1号
郵便番号：563-8666
TEL：072-752-1111
FAX：072-753-5414
http://www.city.ikeda.
osaka.jp/

いけだ
No.189
だ

いけだ市議会だより 令和6年(2024年)5月1日



池田駅前公園にて

池田市議会 録画映像配信を行っています

市議会では議会改革の一環として、代表質問・一般質問の録画映像配信を行ってききましたが、令和4年3月定例会からは、さらに本会議の議案審議等の録画映像配信を開始しました。

本号に掲載の3月定例会の審議内容や各派代表質問については、紙面の都合上、一部しか掲載できませんので、詳細については、外部サイト「YouTube」において配信しております録画映像を御覧ください。

池田市議会 映像 🔍



3月定例会 2
意見書 2
議決結果 3
各派代表質問 4
委員会レポート 10
議会からの提言について 12
議会日誌 12
やまばと 12

3月定例会

3月定例会は、2月28日に開会し、報告案件1件及び市長から令和6年度各会計予算など議案37件が提出され、本会議及び委員会で審議を行い、いずれも承認・可決しました。

また、市長の「令和6年度施政及び予算編成方針」と教育長の「令和6年度教育方針と主要施策」が発表され、それに対する各派代表質問を3月7日に行い、市民の声を市政に反映させるため、それぞれの立場から活発な議論を行いました。

そして、3月28日には、市長から提出された追加報告案件1件と追加議案2件を審議し、いずれも承認・可決して3月定例会を閉会しました。

物価高騰対策臨時特別給付金を含む専決補正予算を承認

物価高騰による家計への影響が大きい低所得者を支援するとともに、定額減税を補足する取り組みとして、臨時・特別給付金が支給されます。

令和6年度国保・介護・後期高齢の3特会予算を可決

国民健康保険特別会計、介護保険事業特別会計及び後期高齢者医療事業特別会計の3予算は、保険料の値上げは容認できないとの反対意見もありましたが、持続可能な制度となるよう努めており、健康増進施策にも、取り組まれている。

この意見が出され、結局、賛成多数をもって、いずれも原案どおり可決しました。

令和6年度一般会計予算を可決 総額は445億円

《ローンセストン市との姉妹都市締結60周年事業》

令和6年度はオーストラリア・ローンセストン市との姉妹都市締結60周年事業が同市で行われます。

《万博子ども招待事業》

希望する子どもたちに大阪・関西万博のチケットが配布されることになりました。

《令和6年度上半期も給食費無償継続》

市議会から提言していた学校給

食費の無償化継続について、市は令和6年度上半期も実施すると表明しました。下半期については令和5年度の決算状況を見て決めるとのこと。同じく市議会から提言していた帯状疱疹ワクチン接種と高齢者難聴補聴器への補助の実施は、見送られました。

《未来の学校づくり推進計画策定事業》

学校施設のトータルコストの縮減や学校規模の適正化をうたった未来の学校づくり推進計画策定事業が進められます。

《五月山動物園再整備》

五月山動物園を3年かけて再整備します。園内にオーストラリアの生息環境を再現できるように工路をつくり、ウォンバットも2頭もらい受ける計画が進められています。

一般会計予算の反対意見としては、開催費が分かれる大阪・関西万博への公費負担は行うべきではない。また、未来の学校づくり推進計画策定事業が教育環境の後退や小規模校つぶしの布石となり得るものであるとの意見などがありました。

一方、賛成意見としては、大阪・関西万博への子ども無料招待事業は、子どもたちの将来に良い影響を与える取組であると考えます。

た、福祉施策に係る各種給付並びに手厚い子育て支援施策を実施するための予算措置も講じられており、評価するなどの意見があり、結局、賛成多数をもって、原案どおり可決しました。

意見書

3月定例会においては、次の意見書を探択し、関係機関に送付しました。

○加齢性難聴者に対する補聴器購入に係る公的支援制度の創設を求める意見書

議会の予定

市議会の役員選出を主として審議するため、5月16日(木)に臨時会を開催する予定です。6月定例会は、次の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいつでも傍聴できます。開会は、いずれも午前10時からの予定です。(定員あり)

6月5日(水)	本	会	議
6月6日(木)	委	員	会
6月10日(月)	委	員	会
6月13日(木)	委	員	会
6月14日(金)	委	員	会
6月24日(月)	本	会	議
6月25日(火)	本	会	議



○市長提出議案及び議決の結果（3月定例会）

議 案 名	議決の結果
処分報告について 専決第1号 令和5年度池田市一般会計補正予算（第11号）	承認（全員異議なし）
地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決（全員異議なし）
池田市個人番号の利用等及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決（賛成多数）
池田市印鑑条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市指定管理者による公の施設の管理に関する条例等の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市立児童発達支援センター条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市介護保険条例の一部改正について	原案可決（賛成多数）
池田市指定居宅介護支援事業者の指定並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市指定居宅サービス事業者等の指定及び指定の更新に係る手数料条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市の風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市建築基準法施行条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市都市の低炭素化の促進に関する法律に係る手数料条例及び池田市建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律に係る手数料条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
五月山景観保全条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市消防保安行政事務手数料条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市宅地造成等規制法に係る手数料条例の廃止について	原案可決（全員異議なし）
池田市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の廃止について	原案可決（全員異議なし）
豊中市・吹田市・池田市・箕面市・摂津市消防通信指令事務協議会規約の変更に関する協議について	原案可決（全員異議なし）
令和5年度池田市水道事業会計補正予算（第4号）	原案可決（全員異議なし）
令和5年度池田市公共下水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決（全員異議なし）
令和5年度池田市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決（全員異議なし）
令和5年度池田市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決（全員異議なし）
令和5年度池田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決（全員異議なし）
令和5年度池田市一般会計補正予算（第12号）	原案可決（全員異議なし）
令和6年度池田市病院事業会計予算	原案可決（全員異議なし）
令和6年度池田市水道事業会計予算	原案可決（全員異議なし）
令和6年度池田市公共下水道事業会計予算	原案可決（全員異議なし）
令和6年度池田市国民健康保険特別会計予算	原案可決（賛成多数）
令和6年度池田市財産区特別会計予算	原案可決（全員異議なし）
令和6年度池田市介護保険事業特別会計予算	原案可決（賛成多数）
令和6年度池田市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決（賛成多数）
令和6年度池田市一般会計予算	原案可決（賛成多数）
損害賠償の額を定め和解することについて	原案可決（全員異議なし）
令和6年度池田市一般会計補正予算（第1号）	原案可決（全員異議なし）
処分報告について 専決第2号 池田市市税条例の一部改正について	承認（全員異議なし）
令和5年度池田市一般会計補正予算（第13号）	原案可決（全員異議なし）
令和6年度池田市一般会計補正予算（第2号）	原案可決（全員異議なし）

代表質問

未来はぐくむプロジェクト議員団

倉田 晃

名村研二郎

園部 佳子

市民の声を聴き
未来に夢や希望をはぐくむ市政運営を



発言者 倉田 晃

問 子どもたちの声を広く聴く方法について

昨年4月に施行された「子ども基本法」に「子ども施策」の策定・実施・評価に当たって「子どもまたは養育者・関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずる」と定められている。実現するための手法について見解を問う。

答 子ども計画策定の中で検討・反映させていく

「子ども施策」への意見反映について、令和6年度に予定している「池田市子ども計画」（仮称）の策定の中で「子ども養育者・関係者」の意見を聴き、反映させていく手法や範囲等を検討していく。

問 五月山緑地・動物園の整備総事業費について

五月山公園周辺の整備事業に係る総事業費はいくらくらいを予定されているのか問う。

答 国の交付金を活用し約14億円を予定している

動物園の整備に概算で約12億円。また、さくらプロムナード再整備工事の事業費については約2億円となる見込み。財源の一部は内閣府所管の「デジタル田園都

市国家構想交付金」の活用を予定。五月山公園周辺整備の歳入増の取組について

多額の予算を投じる事業になる。今後の維持管理費の心配もあり、五月山公園周辺整備による経済効果や歳入増につなげる取組について見解を問う。

答 観光拠点として経済効果を生む仕掛けになる

動物園においては観光拠点として「市内回遊性の向上」や「観光消費額の増加」を見込んでおり、まちのにぎわいにつながるなど、経済効果を生む仕掛けとなっていくと考える。維持管理費については、飼育管理等に資するデジタル技術の導入等によりコスト増は想定しているが、グッズ販売や有料デジタルコンテンツの開発などにより収益の確保に努めていく。

問 ダイハツ工業工場生産停止の影響について

下請け業者への補償手続も進んでおり、市税収入への影響が懸念される。財政への影響についてどのように見込んでいるのか問う。

答 市内法人全体では小幅な減収に留まる見込み

一定の減収を見込んでいるが、全体的に景気回復による増収を予想しているため、令和6年度予算における市内全法人に係る法人市民税合計では小幅な減収（約△1%）に留まる見込んでいる。

問 産後ケア対象者の拡大のための取組について

産後ケア事業の対象者を拡大するためには委託料の拡充など、事業者が参入しやすくなるような取組が必要と考えるが見解を問う。

答 事業者と連携して参入しやすい取組を検討

現行の委託料は他市並みであるが、産後ケア事業の利用者が増加傾向にあり、委託事業者のさらなる協力や連携は事業の継続に必須であることから、引き続き市内事業者とも連携を取りながら参入しやすい取組を考えていく。





各派



発言者 沖本 純子

大阪維新の会池田議員団

沖本 純子 三宅 正起 安黒 善雄
古川 裕倫 笹村有理子

だれもが自分を活かせる！
市民に寄りそう市政に

問 卵子凍結保存費用の一部助成について

事業内容及び制度設計をどのよう
に考えているのか。

答 将来の妊娠に備える選択肢の一つ

将来的に子どもを望んでいる女性を対象に卵子凍結費用及び保存継続費用として最大30万円を助成する。妊娠時期を自らの希望に応じて選択でき、「安心して出産・子育てができるまち池田」という機運が高まることを期待。

問 観光推進に関する取組について

市内でのフードバイヤーシティ（食の多様性）の現状と今後の推進方法を問う。

答 多様に食を提供する店舗の拡大を図る

フードバイヤーシティの現状については、昨年度までにベジタリアン・ヴィーガンメニューの提供及びムスリムフレンドリーな店舗として、市内に10店舗あり。うち3店舗は、今年度新たにプラントベースフード（植物由来の食材）を取り扱う予定。今後も協力店舗の拡大を図る。

問 さくらプロムナードの再整備について

さくらプロムナード再整備の現状を問う。また、カフェ・レストランなどの導入検討業務を行うとしているが、どのような取組を行っているのか。

答 桜の植え替えなどの整備を行う予定

歩道の拡幅・桜の植え替え・雨水流出抑制のための保水ブロックや浸透管の敷設、駐車場待機レーン設置などの整備を令和6年度も引き続き行う。カフェ・レストラン等の導入に向けては、令和7年春の開業を目指し取り組んでいる。

問 五月山合葬式墓地の概要及びニーズについて

五月山霊園合葬式墓地の整備とはどのようなものか。また、どのような方にニーズがあるのかを問う。

答 遺骨を合同埋葬する墓地

合葬式墓地とは、区画墓地とは違い、遺骨を合同埋葬する墓地で、ニーズについては、継承者がいない方や、子や孫の代にお墓の維持管理で負担をかけたくない方、費用面で苦慮している方などにあると考えている。

問 オンライン学習アプリの導入について

オンライン学習アプリの導入について、デジタルネイティブの子どもたちにとって、より利用しやすいツールとなれば、学びの楽しみを感じる児童・生徒も増えるのではないかと。今回導入の学習アプリの内容と対象者について問う。

答 学習支援ツールを導入

ドリル教材機能に合わせて、WEBテスト教材や動画教材を持ち合わせた学習支援ツールを導入。個別最適な自主学習の促進及び不登校支援の一助として、小学校1年生から高校3年生までの内容を学年に制限なく利用可能。英検対策講座など、個々の学習スタイルやペースに合わせた学び直しや予習が可能になると認識している。



代表質問

自由民主党議員団

小林 義典

浜地慎一郎

西垣 智

松本康二郎



発言者 小林 義典

未来に希望が持てる
安全・安心なまちづくりの推進を！

問 クリーンセンター次期施設基本構想について

基本構想の策定を行うとのことですが、構想内容について問う。

答 循環型社会の形成に寄与する施設を自指す

将来の人口規模からのごみの排出量や処理における現状課題を踏まえ、方針の整理を進めていく。

問 企業誘致を行い人口増加を図る必要がある

細河地域の活性化・人口増のため、地域の特性に応じた企業誘致が必要と考えるが、見解を問う。

答 実現可能な事業スキームを官民連携で検討中

細河園芸センターや旧細河小学校跡地周辺の地域振興ゾーンで細河地域の環境や立地を生かした整備の検討を進めながら、事業者とアッシング等を並行して実施中。

問 小中学校の給食費の恒久的無償化について

上半期のみ予算となっているが、半年間だけで無償化を終了することはできないと考える。なぜ年間の無償化予算ではなく、半年だけになったのか。また、下半期

の財源確保は可能なのか。そして恒久的無償化への取組は。

答 恒久化に向け市長として国府へ要望している

人件費や扶助費などの増加を理由に24億9千万円の財政調整基金の取崩しを計上しており、予算ベースでの年度末基金残高は約3億1千万円にまで減少する厳しい状況のため、上半期のみ予算となった。また、下半期については国の交付金や令和5年度決算状況などを踏まえ、継続に向け検討。

問 新消防庁舎への建て替え基本構想について

基本構想には建て替え場所、スケジュールなども含まれるのか。

答 建て替え場所・スケジュールも組み込む

施設の老朽化や施設面積の不足など、早期の消防庁舎整備が必要と認識している。これを踏まえ、消防本部庁舎並びに細河分署庁舎の早期建て替えに向け、消防庁舎整備基本構想を策定していく。

問 新たなウオンバット受入れの可能性について

現在どのような話し合いが行われているのか。実現可能性はどのように考えているのか。

答 ウオンバット2頭の受入れに向けて調整中

オーストラリアのトロワナ・ワイルドライフ・サンクチュアリーとの間でウオンバットの受入れ調整や五月山動物園のリニューアル案の共有、ウオンバットの生息環境についても話し合いを進めている。

問 中学校クラブ活動の地域移行について

学校間にクラブの種類や数などに格差があるように思う。中学校のクラブ活動の現状と運動部以外の文化部についても地域移行していく考えなのか、見解を問う。

答 文化部の地域移行は環境整備諸条件の検討中

生徒数の減少により、特に団体競技では人数を満たすことができず活動を休止するクラブもあり差が発生している。現在、運動部活動で地域移行を進めている。





各派

公明党議員団

荒木 眞澄 多田 隆一
藤本 昌宏



発言者 藤本 昌宏

個の多様性を尊重し、 きめ細やかな行政サービスを

問 窓口サービスの
ワンストップ化等を

市民の複数手続のワンストップ化や窓口サービスの向上のため、「窓口コンシェルジュ」を配置し、さらなる市民サービスの強化についての見解を問う。

答 ワンストップ化の
課題を分析し検討

窓口手続の改革は優先度が高いと認識。先行自治体においては、デジタル技術を活用したワンストップ窓口の設置などが推進されている。本市では、池田市DX行動宣言において「書かなくていい、待たなくていい、行かなくていい市役所」を行動目標の一つに掲げているところであり、庁内の課題を分析し、検討する。

問 不登校児童・生徒に
学びの機会の保障を

発達障がいやいじめなどで、小中学校等で不登校になった児童・生徒のため、実情や特性に応じた学びを保障することは重要。そこで、小中学校内の適応指導教室のさらなる拡充を。

答 不登校児童・生徒数は増加
学びの保障は重要

現在、校内適応指導教室を設置し、登校渋りや教室に入りづらい児童・生徒が活動を行ったり、過ごしたりできる居場所づくりに取り組んでいる。今後、全校常設化に向けて、一層取り組む。

問 民間の空き家・空き室の
市営住宅化を

公営住宅などの必要性は、今後ますます増大するのは必然。増加傾向の空き家や民間アパートの空き室等を市営住宅化し、新たな住環境の整備が必要では。

答 空き家・空き室対策は
非常に重要

空き家や民間アパートの空き室については、増加傾向と認識。今後、住宅困窮する方々に対し、民間賃貸住宅を含め、活用の促進に取り組む。



問 防災対策向上のため
さらなる女性職員の配置を

災害時に、きめ細やかで生活に密着した対応が取れるように、危機管理課や消防本部に、引き続き女性職員の配置の拡充を。

答 防災対策の視点で
女性職員の配置は必要

平常時から防災対策の視点で女性職員を危機管理課に配置することは必要。市全体での人員計画において、配置拡充に向け検討する。

問 職員の「子連れ出勤」
制度の導入を

「いごもまんなか応援サポート」宣言をしている本市において、緊急の場合に、許可が得られれば、職員が自分の子どもや孫を連れて出勤できる「子連れ出勤」制度の導入を。

答 「いごもまんなか社会」を
推進する

子育ては一人ではできないと認識。支え合う体制が必要であるため、幹部職員をはじめ、職員同士の理解が進むような体制の構築を図る。

代表質問

池田未来の会議員団

中田 正紀 守屋 大道
坂上 昭栄 下窄 明



発言者 坂上 昭栄

未来を見据えた「安全・安心」
な信頼できるまちづくり

問 ウォンバットの魅力発信の継続について

五月山動物園のウォンバットは3頭に減り、新しく迎えることが必要。交渉を早めに行い、迎える機運醸成を図る仕掛けも必要であると考えますが、見解を問う。

答 ウォンバット2頭の受入れに向けて調整

「ウォンバットデー」をはじめとした各イベントを引き続き企画し、魅力発信に努める。

問 大阪・関西万博子ども無料招待事業について

大阪府が既に子ども無料招待を実施した後に本市でも子どもを招待するのは重複感がある。2回目は高齢者に対して無料招待を行うべきだと考えるが、見解を問う。

答 教育・子育て支援の観点から観点から大阪府と連携

教育・子育て支援の観点から、未来社会の先進的技術やサービス等に触れ、将来に向けて夢と希望をたくさん感じ取ってもらいたい。



問 小中学校義務教育学校給食費無償化について

令和6年度上半期の無償化を実現し、下半期の実現に向けた財源措置を講じていくことであるが、国からの補助金等も視野に入れて検討するのか、一般財源で下半期も無償化を実施するのかを問う。

答 下半期の無償化実施の継続に向けて検討

令和5年度は国からの臨時交付金と一般財源を元に実施。令和5年度の決算状況や財政調整基金の残高などを踏まえて検討する。

問 多世代交流施設の機能について

入浴施設は存続を希望する方々が署名を集めている。設置することが困難な理由を問う。趣味の部会に対して補助金がなくなるなどのことだが、新しい補助的な内容を考えているのか、見解を問う。

答 時代に即した施設として交流の機能を充実

家のお風呂が普及しているため、優先度は低い。趣味の部会に対しては公平性が高くない北摂他市の状況を鑑み廃止。高齢者の活動スペースの提供を行い、施設主催で

講師を招いた講座の実施を検討。

問 消防庁舎整備の基本構想の策定について

本市も築50年を超える施設が多く、市民の安全・安心の観点からも真っ先に取り組むことが重要である。両新庁舎の整備に関する時期やあるべき姿について問う。

答 早期建て替えに向け準備整備基本構想を策定

細河分署の取扱い及び整備基本構想のスケジュールなど、関係団体等を含め整備を進める。

問 犯罪被害者支援の拡充について

国においては平成16年に犯罪被害者等基本法を制定。犯罪被害者等施策に関する条例の制定を本市においても実施できる体制づくりが求められているが、見解を問う。

答 関係部署で手続を行い部局横断により対応

専門家による各種相談をはじめ、生活資金等の貸付、公営住宅への優先入居、災害見舞金の支給等、必要とされる情報を提供する。



各派



発言者 山元 建

日本共産党議員団

藤原美知子 山元 建

市議会の共闘広げて 学校給食無償化継続を

問 おいしい給食を無償で子どもたちに

答 来年度上半期も給食無償継続とのことだが、国・府の制度としての実施を求めながら、それまでは市単独で継続すべき。また、予定通りの分量が出ない、おいしくないの声が続かない献立の改善、給食調理業務の直営化を求める。

問 無償化継続は検討

答 財政調整基金の残高等、令和5年度決算等見て継続は判断。運営業者に責任を持って指導し、安心・安全、おいしい給食に努める。

問 带状疱疹ワクチンと補聴器購入補助を

答 市議会が総意で実現を求めている带状疱疹ワクチン接種と高齢者難聴補聴器購入補助を実現すべき。

問 国の動向を踏まえ検討する

答 国の動向を踏まえることも、財政状況を鑑みながら検討する。

問 国保・介護・後期高齢の重い負担を軽減せよ

答 来年度から引上げられる国保・介護・後期高齢医療の保険料。被

保険者の保険料からなる赤字を活用して保険料を引下げるべき。

問 保険料抑制に努める

答 国に公費拡充・財政支援拡充を要望し、保険料上昇抑制に努める。

問 重度障がい児の補助強化を

答 重度障がい児の命を守るため、補助具などへの支援が求められる。保護者の負担を減らす施策を。

問 きめ細かな家族支援にも努める

答 障がい児通所支援サービスの充実を図る。

問 能登半島地震の教訓に学び災害対策を

答 能登半島地震を教訓に施設管理など身近なマンパワーの充実、避難施設や防災設備、備蓄の強化、トイレトレーラー購入などで災害に備えるべき。

問 マンパワー確保
トイレ拡充に努める

答 避難所近くに居住の職員を配置。避難場所の指定拡大、マンホールトイレ・非常用トイレを購入予定。

問 小中一貫校は総括すべき

答 間もなく10年を迎える小中一貫校、当初市教委はきめ細かい教育の実現、中1ギャップ解消、成績上昇など宣伝。一方で市民や関係者から安全面、学校行事の整合性などが懸念されていた。その実態を総括すべき。

問 これからも学校づくり支援

答 特色ある教育活動を推進。

問 自衛隊に若者の名簿提出はやめよ

答 自公政権が戦争する国づくりを進める中、池田市は市民に知らせることなく、市内の若者の名簿を自衛隊に提供し、教育委員会は自衛隊での職場体験を実施していたことが判明。やめるべきだ。

問 今後も継続する

答 名簿提出は今後も継続。除外申請の受付は実施している。職場体験は毎年精査する。

委員会 レポート

3月定例会では、市長から提出された議案のうち31件の議案を、市議会に設置している4つの常任委員会に審査付託し、細部にわたり慎重に審査しました。

3月28日の本会議では、各委員長が審査の結果報告を行い、市長から提出された議案はいずれも可決しました。
各委員会での審査の主な内容は次のとおりです。

総務委員会

「2025年大阪・関西万博」への子ども無料招待に対する見解は

〈一般会計予算〉

大阪府が実施する「2025年大阪・関西万博」への子ども無料招待事業における2回目の招待に係る費用として、システム運用委託料63万9千円並びに期間を令和7年度とする限度額1720万3千円の債務負担行為をそれぞれ計上している。

1970年開催の大阪万博の際

には入場料の公費負担は行われなかったことに加え、報道機関による世論調査では、万博開催に対する反対意見が賛成意見を大きく上回る状況において、市費を投入するべきではないと考えるが、見解を問う。

大阪府の事業趣旨に賛同 多くの自治体も参加見込み

子どもの無料招待に係る市費の投入については、万博会場で全ての子どもが未来社会の革新的な技術やサービスを直接体験することによって、将来に向けた夢と希望を感じてもらおうという大阪府の事業趣旨に本市も賛同し、教育・子育て支援の観点から希望する家庭の子どもの費用負担を予定している。

前回の万博開催時には、公費負担は行っていないが、当時とは時代背景が異なり、現在では子どもの育成に力を入れる社会になっている。
会場は広く混雑も予想され、1回では回りきれないため、2回目の招待は意義ある事業であると考えている。

また、大阪府が万博協会と協議し、子どもの入場料を低く抑えられる仕組みを導入し、自治体の費用負担を軽減すると聞いている。

府内の多くの自治体が当該事業に参加することが見込まれることから、本市も参加すべきであると考えている。

女性活躍推進に係るセミナーの内容は

〈一般会計予算〉

男女共同参画費において、奨励金10万円を、ダイバーシティセンター費において、女性の多様な働き方・生き方を支援するセミナーの充実に265万円をそれぞれ計上している。

本奨励金は女性活躍推進に向けて創設されたチャレンジ支援金で、支援金受給者を本市が主催するセミナー受講者の中から2名選出することである。

支援金受給の前提条件として開催するセミナーの内容と女性支援に係るセミナー開催費との関連性、並びにそのほかに予定しているセミナーの内容や周知方法について問う。

女性のライフステージに合わせて 生き方を考える機会を設ける

チャレンジ支援金受給に係るセミナーの内容は、女性の人材育成事業として女性が自身のライフステージに合わせて仕事や育児、家事の比率について見直したり、

生き方を考える機会を設けるものである。

ダイバーシティの推進に寄与するような団体の立ち上げや起業などの挑戦を決めた女性に対して審査を行い、チャレンジ支援金を交付したいと考えている。

また、当該セミナーの費用は、女性支援に係るセミナー開催費用に含んでいる。

そのほかのセミナーとしては、再就職支援事業として、スキルアップや就職に向けた相談、参加者同士の交流の機会を創出するものや、父親支援事業として、これから父親になる男性や育児中の男性を対象に仕事と育児、家事との両立を支援するとともに、男性間のネットワーク形成についても寄与するものと考えている。

セミナーはダイバーシティセンターでの開催を予定しており、市の広報誌やホームページ、公式LINEなどにより、周知していきたいと考えている。



文教病院委員会

未来の学校づくり推進計画策定
事業の具体的な内容は

〈一般会計予算〉

問 未来の学校づくり推進計画策定事業として、老朽化に伴う学校施設の維持管理などについて、中長期的なトータルコストの縮減を図りつつ、新しい時代の学びにふさわしい学校を目指すべく、学校規模の適正化及び学校施設の更新計画を策定する計画策定委託料1千200万円を計上している。

当該計画策定のスケジュール及び具体的内容について問う。

2か年かけて
学校の適性規模を検討

答 当該計画の策定期間は、2か年を予定しており、令和6年度は詳細な将来推計の実施や、学校規模のメリットとデメリットを整理し、人口動態を踏まえた学校教育法施行規則に規定されている学校の適正規模と適正配置の検討を市長部局とも連携しながら、進めていきたいと考えている。

令和7年度は、検討結果を基に、財政状況を踏まえながら、具体的な更新計画の策定を進めていきたいと考えている。

厚生委員会

重点課題の内容及び
今後の取組方針は

〈介護保険条例の一部改正〉

問 第9期介護保険事業計画に基づき、令和6年度から令和8年度までの保険料率を定めるに当たり、本市においての算定方法及び低所得者への負担軽減策について問う。

介護人材の確保が課題
離職防止対策に取り組む

答 今回の保険料率算定に当たっては、国が示す基準に合わせて定めているが、特に低所得者の負担軽減を図るため、第2段階及び第4段階については、国基準よりも低い保険料率とした。

また、第9期介護保険事業計画における重点課題については、国と同様に、本市においても介護人材の確保を掲げている。

令和3年度より開始した介護の魅力発信事業で行っている就労相談面接会をはじめ、介護現場の職員に対して資質向上に資する研修会の開催などに引き続き取り組むとともに、人材育成支援や職場環

境の改善など、離職防止対策についても取り組んでいきたいと考えている。

ふれあい優待入浴事業の
拡充に対する見解は

〈一般会計予算〉

問 今回、社会福祉費に多世代交流施設整備事業として、5億3280万円計上している。

本事業は旧白寿荘及び敬老会館の解体工事を行うとともに、新施設の実施設計を行うものである。

新施設には、これまで敬老会館に設置していた入浴施設は設置しないとのことであるが、入浴施設は高齢者に一定のニーズがあるものと考えている。

本市において実施しているふれあい優待入浴事業の拡充はできないか、見解を問う。

敬老会館廃止の代替策として
本事業の拡充を検討

答 指摘のとおり、敬老会館及び周辺ふれあい優待入浴事業は、高齢者の外出促進を目的に、市内に4か所ある公衆浴場を月2回、自己負担200円で利用できる補助事業である。

敬老会館の廃止に伴い、当該施設の浴場が利用できなくなることから、代替策として本事業の拡充を検討したいと考えている。

土木消防委員会

消防庁舎整備基本構想の
今後の方針は

〈一般会計予算〉

問 消防費に、消防庁舎整備基本構想策定事業として900万円計上している。

市民の安全・安心の観点からも、老朽化した消防庁舎の整備に取り組むことは大変重要であると考えられるが、本基本構想の内容について問う。

市長部局や関係団体等と
協議を重ねていく

答 消防本部庁舎は昭和50年に、細河分署庁舎は昭和54年にそれぞれ竣工し、耐震化や長寿命化を図りながら使用している。

消防庁舎は、施設の老朽化や関連設備の更新が必要な時期にきており、消防隊員数及び車両台数の増加に伴う敷地面積の不足など、多くの課題を抱えている。

このようなか、様々な課題を抱える消防本部庁舎と細河分署庁舎の早期建替えに係る基本構想を策定し、市長部局や関係団体等と協議を重ねていきたい。

「予算決算審査サイクル」 議会からの提言について

昨年12月に、令和6年度の予算編成に向けた、12の提言を市長に提出し、左記のとおり、9つの提案が反映され、残り3つの提案は引き続き検討されることになりました。

(主な反映結果)

○観光・地域活性化策の強化について

↓インスタ映える景観づくりは、各施設の担当者が会するプラットフォームや、「いけだ駅前活性化プロジェクト」の取組等との連携の中で対応。BOTAFESは、一定の補助を実施。タッチパネル式デジタル掲示板は、さらなる情報発信の観点から市内の設置可能場所を調査し、設置を検討していくとともに、阪急電鉄沿線をはじめ、各種媒体を通じ、イベント情報の発信を行うべく。

○学校給食費の無償化について

↓引き続き、令和6年度において、小学校、中学校及び義務教育学校の給食費に対する保護者負担支援を実施。当初予算では、給食費無償化上半期分を計上し、下半期の予算化に向け、決算状況を踏まえた財源措置等を検討。

○妊娠前から妊娠・出産後までの環境整備について

↓不妊治療の治療費助成は、令和4年度より保険適用となったことから、高額療養費制度の対象になるもの。分娩のできる産婦人科医院及び小児科医院の誘致及び開業支援は、本市の財政状況を勘案しつつ検討。産後ケア事業は、対象者の拡充を実施。

○道路整備について

↓市公式LINEの「道路などの損傷通報機能」は、より使いやすいやすく、効果的に利用できるように情報発信を強化し、迅速な整備・補修に努める。また、バリアフリー対策や安全対策に関しても、積極的な取組を行い、狭い歩道の整備や交差点におけるカーブミラーの設置などを図っていく。加えて道路脇排水設備の点検・清掃や横断歩道、停止線等のメンテナンスにおいても、定期的な作業を実施し、同時に市内の国道・府道においても関係機関との連携を深め、市民の安全と快適な生活環境の確保に努める。

(その他)

○公共施設の利便性向上について

○ふるさと納税の寄付金収入の増加について

○教職員及び専門職の増員について

○市立池田病院の安定経営及び医療従事者の確保について

○保育の質の向上について

議会日誌

2月

2月9日 各派代表者会議
議会運営委員会
2月26日 予算内示会
各派代表者会議

議会運営委員会
2月28日 市議会定例会
市議会だより編集
特別委員会

3月

3月7日 市議会定例会
3月8日 市議会定例会
3月11日 土木消防委員会
3月12日 厚生委員会
3月14日 文教病院委員会
3月19日 総務委員会
3月28日 各派代表者会議
議会運営委員会
市議会定例会

4月

4月9日 市議会だより編集
特別委員会
4月12日 議会運営委員会
全員協議会
4月16日 市議会だより編集
特別委員会

やまばと

暦の上では間もなく夏となりますが、市民の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本市議会3月定例会では、令和6年度の市長の「施政及び予算編成方針」及び教育長の「教育方針と主要施策」に対して、各派代表質問を行いました。

また、各常任委員会では予算や条例等に対する審査が行われ、その内容は本号に掲載しております。現委員での編集による発行は、今号で最後になります。1年間御愛読いただき心より感謝申し上げます。

次号から、新たな委員での編集になり、紙面もリニューアルを行う予定です。楽しみにしていただきたいと思います。引き続き御愛読いただきますようお願い申し上げます。

市議会だより編集特別委員会

委員長	西垣 智
副委員長	中田 正紀
委員	笹村有理子
委員	藤本 昌宏
委員	園部 佳子
委員	山元 建